

三菱UFJニコス、中国銀聯と提携！ 来春、「三菱UFJニコス銀聯カード」誕生、MUFGカードとデュアル発行へ ～渡航者数NO.1の中国で使い勝手の良いクレジットカード発行で合意～

三菱UFJニコス(代表取締役社長:佐々木宗平)はこの度、中国唯一の銀行間決済ネットワークの運営会社であり、カードの国際ブランドでもある中国銀聯(China UnionPay Co. Ltd.、総裁:許羅徳)と提携、主に中国への渡航者を対象にした、“銀聯ブランド”的クレジットカード「三菱UFJニコス銀聯カード」の発行で合意、来年3月に当社の「MUFGカード」等とのデュアル(2枚セット)発行を開始します。

中国銀聯は2002年に中国人民銀行(同国中央銀行)主導により設立され、現在、同国内で唯一のATM(現金自動預払い機)網を有し、約150万加盟店(本年9月現在)のデビット/クレジット決済網を構築、同国の“社会的インフラ”と呼ぶに相応しい役割を担っています。また、世界規模では258(本年9月現在)の金融機関と提携、“銀聯ブランド”的カード発行は約20億枚(本年9月現在)に至ります。

当社では、日本からの同国渡航者数が米国を抑え最多であることや、ビジネスマンの出張ニーズ及び来年5月開催予定の上海万博への観光ニーズの高まりに鑑み、「三菱UFJニコス銀聯カード」の発行を決め、11月19日に同社と合意に至ったものです。

なお、同社運営のデビット/クレジット決済網は、同国の都心部はもとより地方都市もカバーしており、「三菱UFJニコス銀聯カード」会員は同国内の広範な地域で安心してカードショッピングを楽しむことができます。また、同国以外でも、世界34の国と地域約50万店の銀聯加盟店で利用可能です。

具体的には、来年3月から「MUFGカード」や「UFJカード」の会員の希望者に、同カードを追加発行します(お持ちでない場合は2枚同時申し込みが可能)。このデュアル方式での銀聯カードの発行により、会員の海外渡航時の利便性が向上し、当社主力商品である「MUFGカード」の「海外渡航に強いブランドイメージの浸透」につながるものと期待しています。なお、年会費は無料(発行手数料1,050円)で、海外銀聯加盟店(中国含む)での利用で“ポイント2倍”も特徴。会員獲得は初年度1万人を目指します。

<新カードの概要>

1. 名称:「三菱 UFJ ニコス銀聯カード」
2. 発行方式:「MUFGカード」あるいは「UFJカード」とのデュアル(2枚セット)発行
3. 発行手数料:1,050円(年会費は無料)
4. 特典:海外銀聯加盟店での利用でポイント2倍、など。
5. その他:ご利用明細書やポイント制度は「MUFGカード」あるいは「UFJカード」と一本化。

以上